

資料1 市民のスポーツライフに関する実態調査

1. 市民のスポーツライフに関する実態調査の概要

調査の目的	鳴門市民のスポーツ実施状況やニーズを把握し、全国調査との比較等の視点から、市が実施する施策や事業のあり方を検討するため。		
調査内容	成人	①成人の運動・スポーツ実施頻度 ・実施の有無 ・実施頻度	
		②実施している運動・スポーツ種目 ・種目(主な5種目)	
		③今後行いたい運動・スポーツ種目 ・種目(主な5種目)	
		④運動・スポーツに対する取組 ・スポーツに対する意識・取組	
		⑤スポーツクラブ・同好会への加入状況 ・加入の有無 ・加入クラブ・同好会・チームの種類	
		⑥スポーツクラブ・同好会への加入希望 ・加入希望	
		⑦総合型地域スポーツクラブの認知状況 ・総合型地域スポーツクラブの認知度	
		⑧スポーツボランティアの実施状況と実施希望 ・活動の有無 ・活動希望	
		⑨学校体育施設の開放に関する状況 ・学校体育施設開放の認知度 ・利用の有無 ・利用希望 ・受益者負担への意識	
	青少年	①過去1年間の運動・スポーツの実施頻度 ・実施の有無 ・実施頻度	
		②実施している運動・スポーツ種目 ・種目(主な5種目)	
		③今後行いたい運動・スポーツ種目 ・種目(主な5種目)	
		④運動・津ポー津を含む習い事の状況 ・実施状況 ・実施内容	
		⑤学校運動部やサークル、民間スポーツクラブへの加入状況 ・加入の有無 ・加入希望クラブの種類	
		⑥スポーツボランティアの実施状況 ・活動の有無 ・活動希望 ・活動内容	
		⑦	
	調査対象	①母集団 (ア)鳴門市に在住する20代から70歳代の各年代100名(合計600名) (イ)市内公立校に在籍する小学校4年生から高校3年生の児童生徒900名	
	調査方法	質問紙調査	
調査期間	平成24年12月～25年1月		
回収結果	①197人:男性66人、女性124人(回収率32.8%) ②841人:男性378人、女性461人(回収率93.4%)		
調査の実施体制	本調査は、鳴門市教育委員会と笹川スポーツ財団の共同研究により実施しました。		

2. 市民のスポーツライフに関する実態調査結果

(1) 成人の運動・スポーツの実施頻度

過去1年間の運動・スポーツの実施頻度をたずね、結果を内閣府「体力・スポーツに関する世論調査」(2009)と比較しました。

国は、スポーツ基本計画の成人の週1回以上のスポーツ実施頻度が3人に2人(65%程度)、週3回以上のスポーツ実施頻度が3人に1人(30%程度)となることを目標として示しています。

今回、鳴門市の成人男性については(44.6%)、全国調査(46.2%)とほぼ同様の実施率だが、成人女性については(30.6%)、週1日以上の上定期的な運動・スポーツ実施率が全国調査と比べて低い上に、過去1年間に運動・スポーツをしなかった者(非実施者:28.9%)の割合も高くなっています。

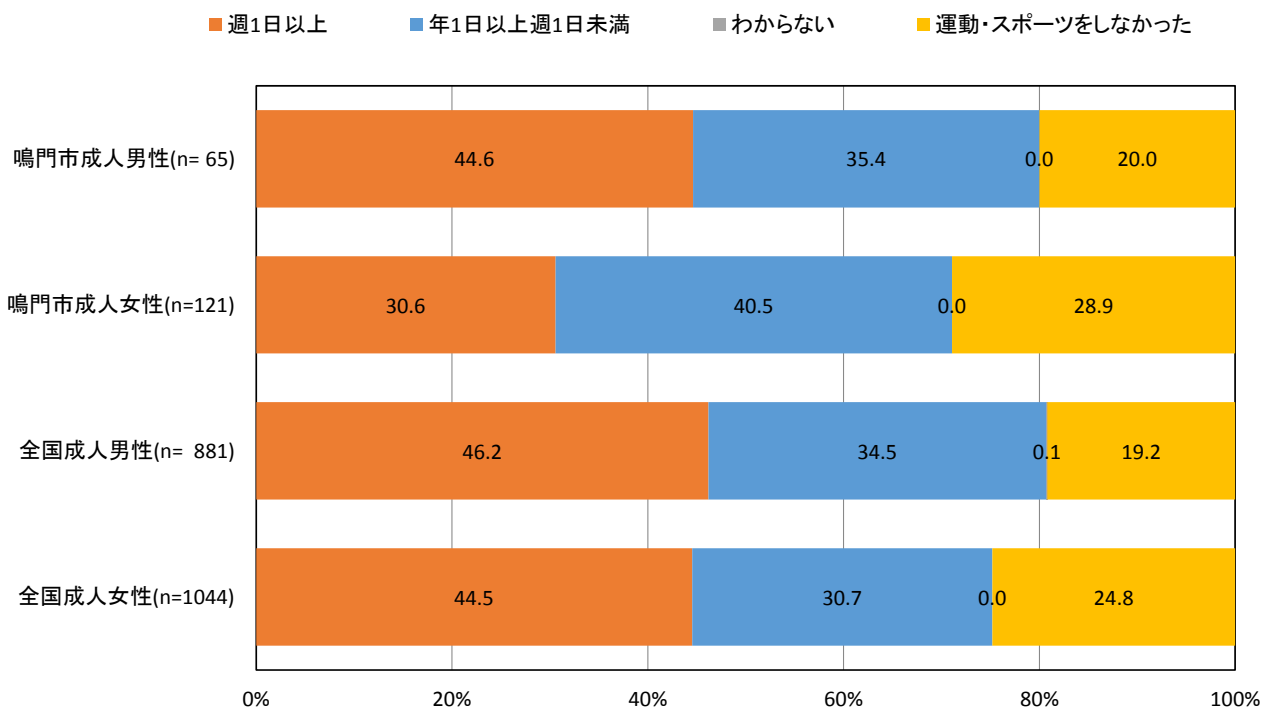


図 2-1 過去1年間の運動・スポーツの実施頻度(内閣府調査との比較)

(2) 実施している運動・スポーツ種目

過去1年間に1回以上実施した運動・スポーツの種目をみると、成人男性は、一般的に実施率の高い歩行系（散歩・ウォーキング・ハイキング等）や体操系（軽い体操、筋力トレーニング）の実施が多くなっています。また、成人女性も成人男性と同じような傾向にあり、ともに笹川スポーツ財団の全国調査とほぼ同様の結果となっています。

全国調査に比べて鳴門市で人気（実施率）の高い種目として、男性では「釣り」、女性では「卓球」があげられます。

表 2-1 過去1年間に行った運動・スポーツ種目

順位	鳴門市成人男性(2012)	(%)	(n)	順位	鳴門市成人女性(2012)	(%)	(n)
1	散歩(ぶらぶら歩き)	47.7	31	1	散歩(ぶらぶら歩き)	44.6	54
2	ウォーキング	33.8	22	2	ウォーキング	29.8	36
3	釣り	23.1	15	3	体操(軽い体操、ラジオ体操など)	23.1	28
4	体操(軽い体操、ラジオ体操など)	20.0	13	4	ボウリング	11.6	14
5	筋力トレーニング	18.5	12	5	水泳	8.3	10
6	ジョギング・ランニング	15.4	10	6	筋力トレーニング	6.6	8
7	ゴルフ(コース)	13.8	9		卓球	6.6	8
	ゴルフ(練習場)	13.8	9	8	バドミントン	5.8	7
9	登山	10.8	7	9	サイクリング	5.0	6
	ボウリング	10.8	7		ソフトテニス(軟式テニス)	5.0	6
11	水泳	9.2	6		なわとび	5.0	6
	ハイキング	9.2	6	12	海水浴	4.1	5
13	海水浴	7.7	5		釣り	4.1	5
	キャッチボール	7.7	5		登山	4.1	5
	サイクリング	7.7	5		バレーボール	4.1	5

順位	全国成人男性(2012)	(%)	(n)	順位	全国成人女性(2012)	(%)	(n)	順位	全国成人男女(2012)	(%)	(n)
1	散歩(ぶらぶら歩き)	31.3	310	1	散歩(ぶらぶら歩き)	38.4	388	1	散歩(ぶらぶら歩き)	34.9	698
2	ウォーキング	24.1	239	2	ウォーキング	25.8	261	2	ウォーキング	25.0	500
3	ボウリング	15.9	157	3	体操(軽い体操、ラジオ体操など)	25.6	259	3	体操(軽い体操、ラジオ体操など)	20.5	409
4	筋力トレーニング	15.7	155	4	ボウリング	10.2	103	4	ボウリング	13.0	260
5	体操(軽い体操、ラジオ体操など)	15.2	150	5	筋力トレーニング	8.8	89	5	筋力トレーニング	12.2	244
6	ゴルフ(コース)	14.6	145	6	ヨガ	8.8	89	6	ジョギング・ランニング	9.7	193
7	ジョギング・ランニング	14.0	139	7	海水浴	7.2	73	7	ゴルフ(コース)	8.3	166
8	ゴルフ(練習場)	13.0	129	8	バドミントン	6.5	66	9	ゴルフ(練習場)	8.0	160
9	釣り	12.0	119	9	水泳	6.3	64		キャッチボール	7.5	150
10	キャッチボール	11.6	115	10	サイクリング	5.6	57	釣り	7.5	149	
11	サッカー	9.2	91	11	ジョギング・ランニング	5.3	54	11	サイクリング	7.4	147
12	サイクリング	9.1	90	12	なわとび	5.3	54	12	海水浴	7.2	144
13	野球	8.9	88	13	バレーボール	4.7	47	13	水泳	7.1	141
14	水泳	7.8	77	14	エアロビックダンス	4.4	44	14	サッカー	5.6	111
15	海水浴	7.2	71		ハイキング	4.4	44	15	バドミントン	5.0	99

(3) 今後行いたい運動・スポーツ種目

現在行っているものを含めて、今後行いたい運動・スポーツの種目をみると、成人男性、成人女性ともに笹川スポーツ財団の全国調査とほぼ同様の結果となっています。全国調査に比べて鳴門市で実施希望者の多い種目として、男性では「水泳」、女性では「卓球」があげられます。

表 2-2 今後行いたい運動・スポーツ種目(現在行っていて、続けたい種目を含む)

順位	鳴門市成人男性(2012)	(%)	(n)	順位	鳴門市成人女性(2012)	(%)	(n)
1	散歩(ぶらぶら歩き)	35.5	22	1	散歩(ぶらぶら歩き)	33.6	39
2	筋力トレーニング	30.6	19	2	ウォーキング	31.9	37
3	ウォーキング	29.0	18	3	体操(軽い体操、ラジオ体操など)	25.9	30
4	水泳	24.2	15	4	ヨガ	25.0	29
5	釣り	19.4	12	5	卓球	16.4	19
6	ジョギング・ランニング	14.5	9	6	パドミントン	15.5	18
7	体操(軽い体操、ラジオ体操など)	12.9	8	7	筋力トレーニング	14.7	17
	ハイキング	12.9	8		ハイキング	14.7	17
	野球	12.9	8	9	水泳	12.9	15
10	ゴルフ(コース)	11.3	7	10	エアロビックダンス	12.1	14
	ゴルフ(練習場)	11.3	7	11	ボウリング	11.2	13
	卓球	11.3	7	12	アクアエクササイズ(水中歩行・運動など)	9.5	11
	登山	11.3	7		太極拳	9.5	11
14	海水浴	9.7	6	14	ソフトテニス(軟式テニス)	8.6	10
	サイクリング	9.7	6		ソフトバレー	8.6	10
	スノーボード	9.7	6		バレーボール	8.6	10
	ソフトボール	9.7	6				
	ボウリング	9.7	6				

順位	全国成人男性(2012)	(%)	(n)	順位	全国成人女性(2012)	(%)	(n)	順位	全国成人男女(2012)	(%)
1	散歩(ぶらぶら歩き)	21.0	208	1	散歩(ぶらぶら歩き)	29.7	300	1	散歩(ぶらぶら歩き)	25.4
2	ゴルフ(コース)	18.6	184	2	ウォーキング	28.0	283	2	ウォーキング	23.1
3	釣り	18.6	184	3	ヨガ	22.8	230	3	筋力トレーニング	15.0
4	ウォーキング	18.1	179	4	体操(軽い体操、ラジオ体操など)	19.2	194	4	体操(軽い体操、ラジオ体操など)	13.7
5	筋力トレーニング	18.1	179	5	水泳	14.3	144	5	ヨガ	12.7
6	登山	13.3	132	6	筋力トレーニング	12.0	121	6	水泳	12.5
7	ジョギング・ランニング	12.7	126	7	ハイキング	10.2	103	7	ゴルフ(コース)	11.9
8	野球	11.2	111	8	ボウリング	9.7	98	8	釣り	11.4
9	ボウリング	11.1	110	9	パドミントン	9.1	92	9	登山	10.8
10	水泳	10.6	105	10	登山	8.3	84	10	ボウリング	10.4
11	ゴルフ(練習場)	10.1	100	11	アクアエクササイズ(水中歩行・運動など)	8.0	81	11	ジョギング・ランニング	10.3
12	サッカー	9.7	96	12	ジョギング・ランニング	7.9	80	12	ハイキング	9.9
13	キャンプ	9.6	95	13	テニス(硬式テニス)	7.7	78	13	キャンプ	8.0
14	ハイキング	9.6	95	14	エアロビックダンス	7.3	74	14	サイクリング	7.8
15	スキー	9.2	91	15	サイクリング	6.9	70	15	ゴルフ(練習場)	7.5

(4) 運動・スポーツに対する取組

現在の運動・スポーツに対する取組についてたずねた結果、鳴門市の成人男性は、笹川スポーツ財団の全国調査と比べて、「運動・スポーツを行っており、満足している」の割合が高い一方で、「特に運動やスポーツに関心はない」の割合も高くなっています。女性では、「特に運動やスポーツに関心はない」の割合が全国調査に比べて高く、「運動・スポーツを行っているが、もっと行いたい」の割合が低くなっています。

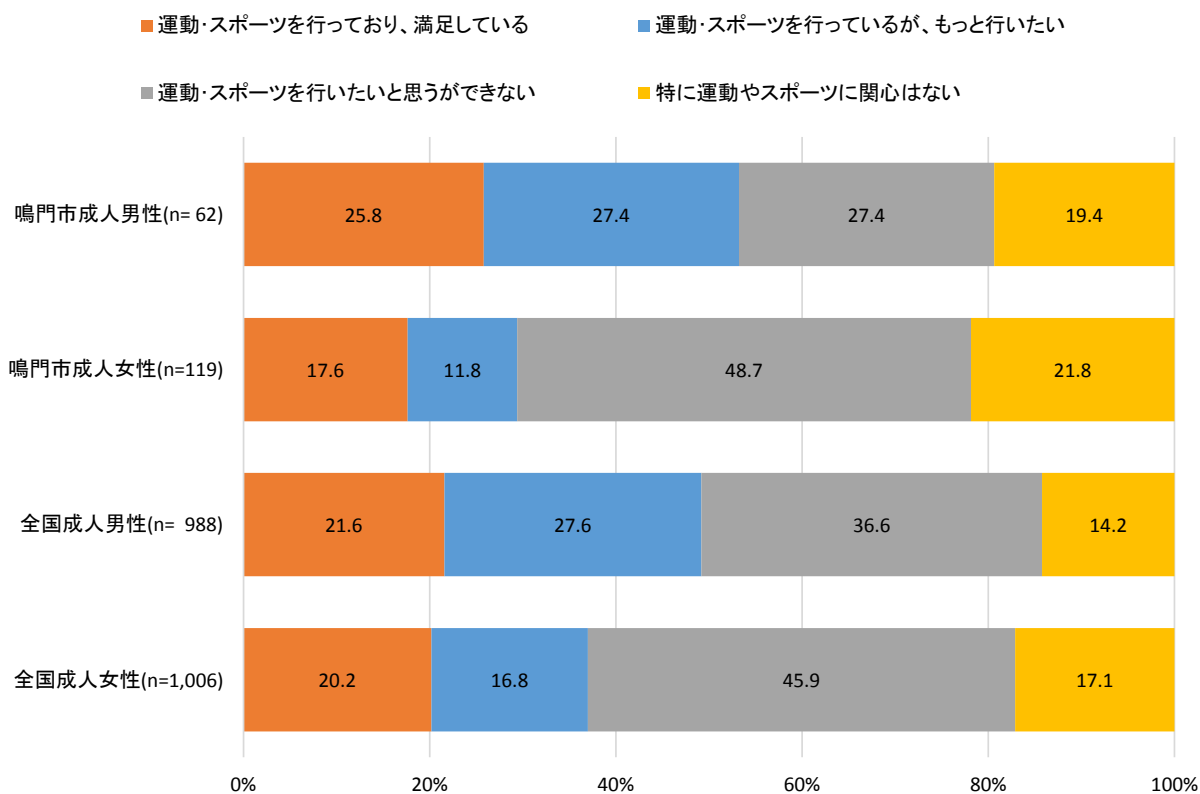


図 2-2 スポーツ活動に対する満足度

(5) スポーツクラブ・同好会への加入状況

スポーツクラブや同好会・チームへの加入状況をたずねました。鳴門市の成人のスポーツクラブ・同好会の加入率は、男性が25.0%、女性が20.0%となっており、笹川スポーツ財団の全国調査の結果と比べてやや高くなっています。

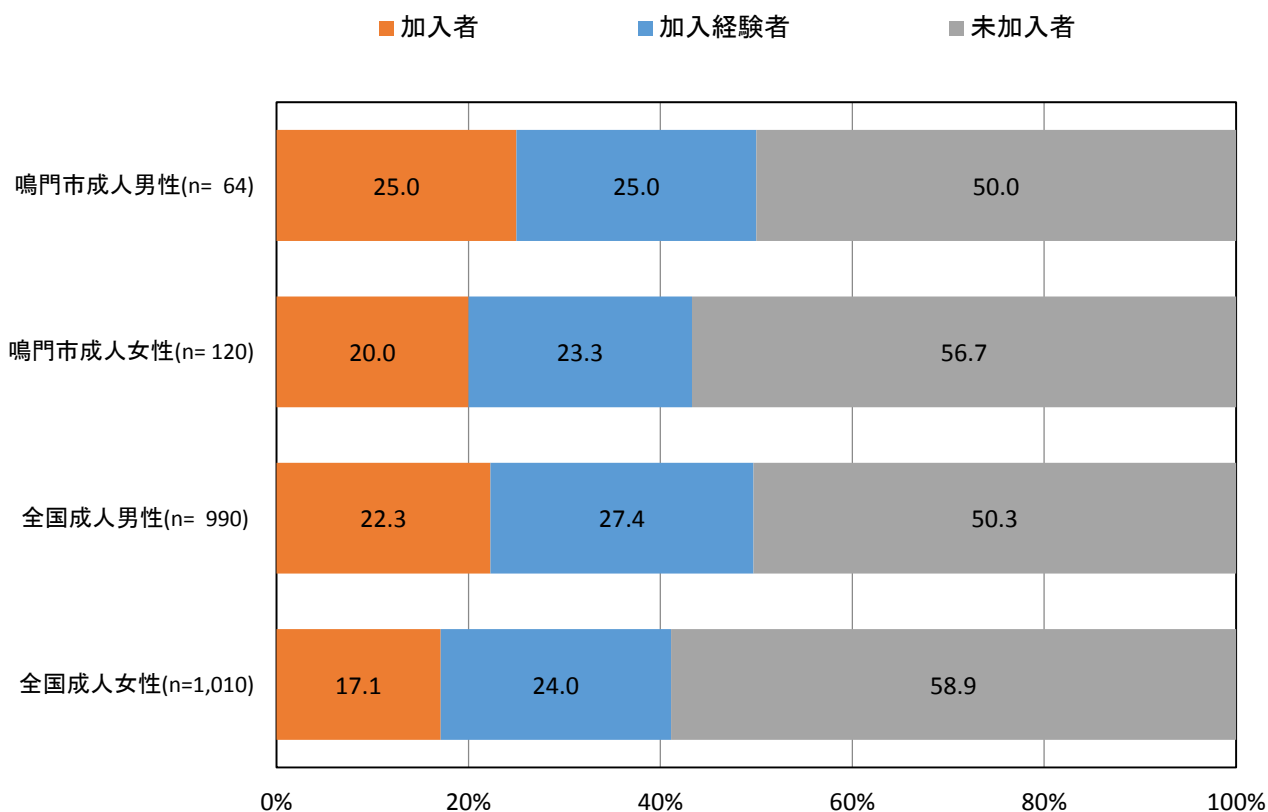


図 2-3 スポーツクラブ・同好会への加入状況

(6) スポーツクラブ・同好会への加入希望

スポーツクラブ・同好会に現在加入していない者に対して、今後の加入希望をたずねました。

鳴門市の成人のスポーツクラブ・同好会の加入希望者の割合は、男性が 26.7%、女性が 34.0%となっています。特に女性において、笹川スポーツ財団の全国調査と比べて希望者の割合が高くなっています。

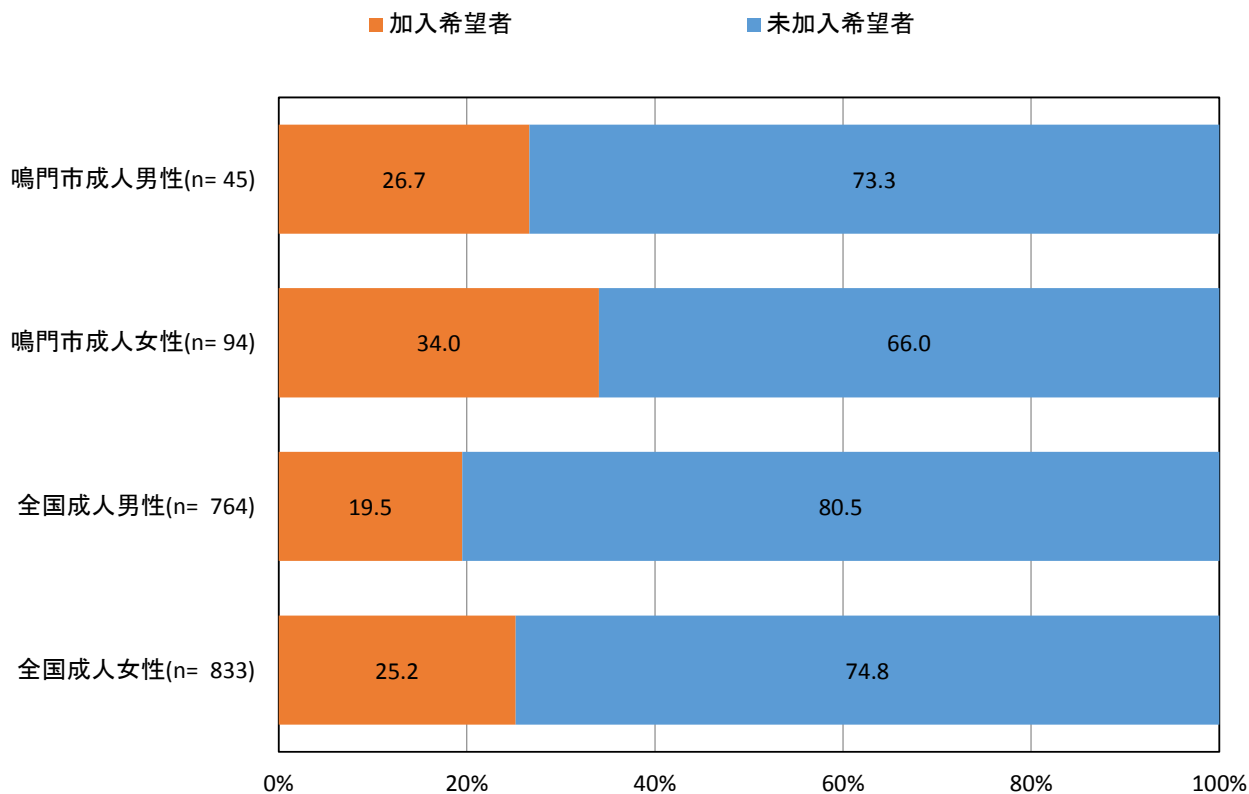


図 2-4 スポーツクラブ・同好会への加入希望

(7) 総合型地域スポーツクラブの認知状況

総合型地域スポーツクラブを知っているかどうかたずねました。鳴門市の成人の認知率（「よく知っている」「知っている」との回答の合計）は、男性が9.7%、女性が15.2%となっています。笹川スポーツ財団の全国調査と比べると、認知している男性の割合がやや低くなっているものの、大きな差異はみられません。

この調査結果から、総合型地域スポーツクラブへの支援の一つとして、市民に対する、周知等が必要であることが分かります。

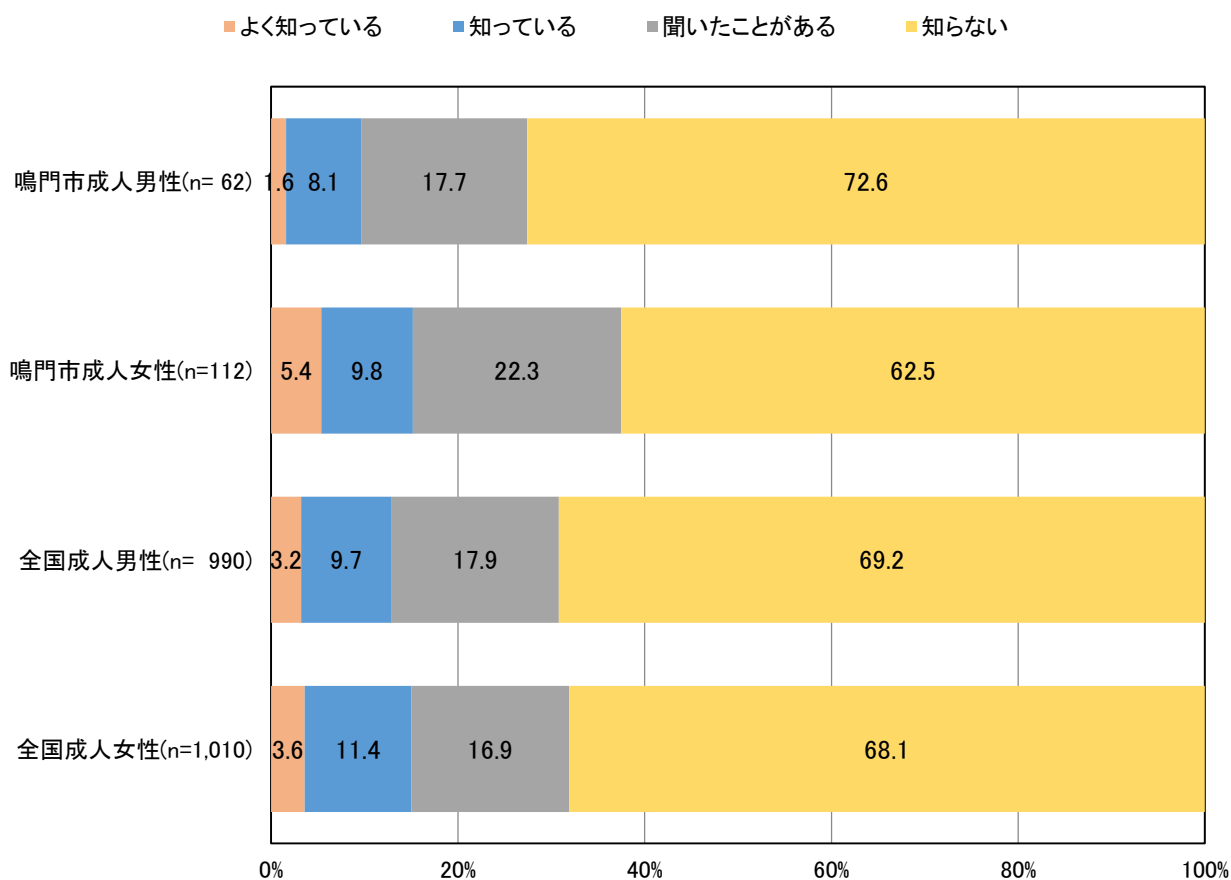


図 2-5 総合型地域スポーツクラブの認知状況

(8) スポーツボランティアの実施状況と実施希望

過去1年間にスポーツに関わる何らかのボランティア活動を行ったかについてたずねるとともに、今後のスポーツボランティアの実施希望についてもたずねました。鳴門市の成人のスポーツボランティア実施率と実施希望率は、男性、女性ともに笹川スポーツ財団の全国調査の結果と比べてやや高くなっており、運動・スポーツを「する」だけでなく、「支える」ニーズもあることが分かります。

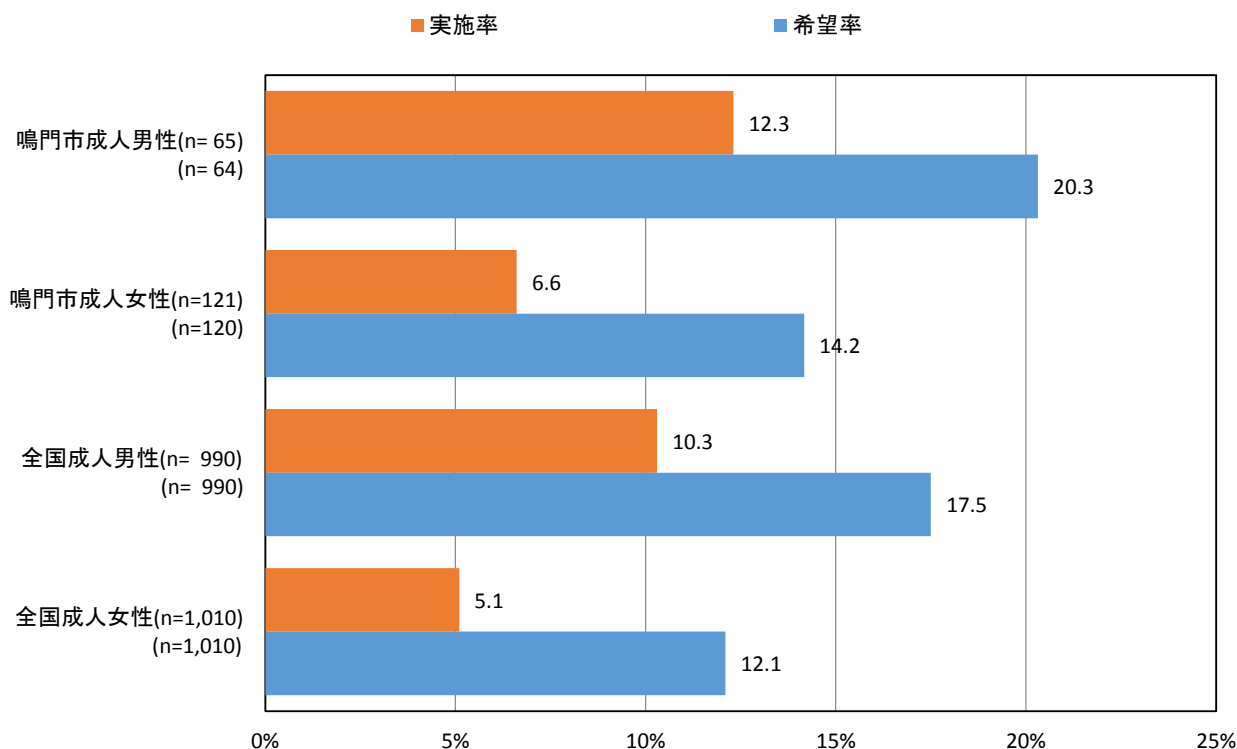


図 2-6 スポーツボランティアの実施率と実施希望率

注) 実施希望率は、今後、スポーツにかかわるボランティア活動を行いたいと思うかとの問いに対して、「ぜひ行いたい」「できれば行いたい」と回答した人の合計

(9) 学校体育施設の開放に関する状況

学校体育施設が地域住民のために開放されていることについて、その認知状況をたずねたところ、男女ともにおよそ4割が「知っている」と回答しました。逆にいえば、学校体育施設が開放されていることを、6割の市民が知らないことになり、学校体育施設の開放について、市民への周知が十分ではないことが分かります。

学校体育施設の開放を「知っている」と回答した者に対し、その利用状況をたずねたところ、「現在利用している」が男性で16.7%、女性で14.3%となっており、過去に「利用したことがない」者が男女ともに半数を占めています。

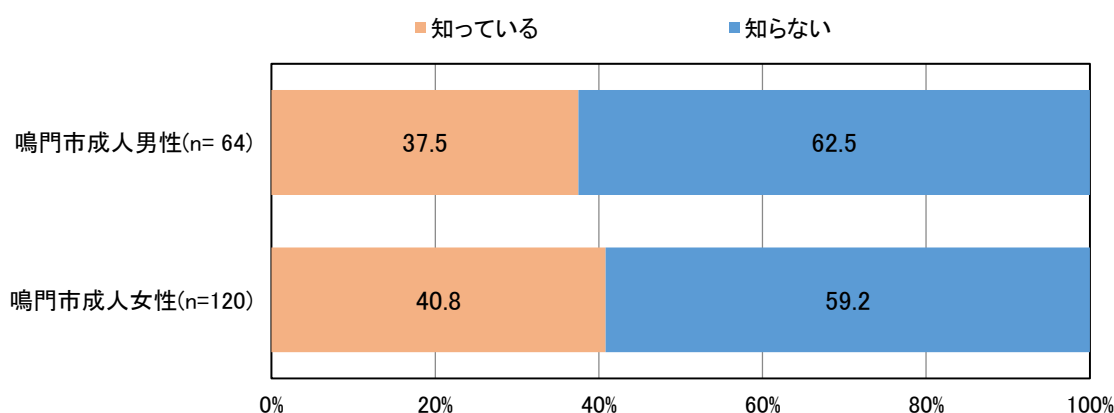


図 2-7 学校体育施設開放の認知状況

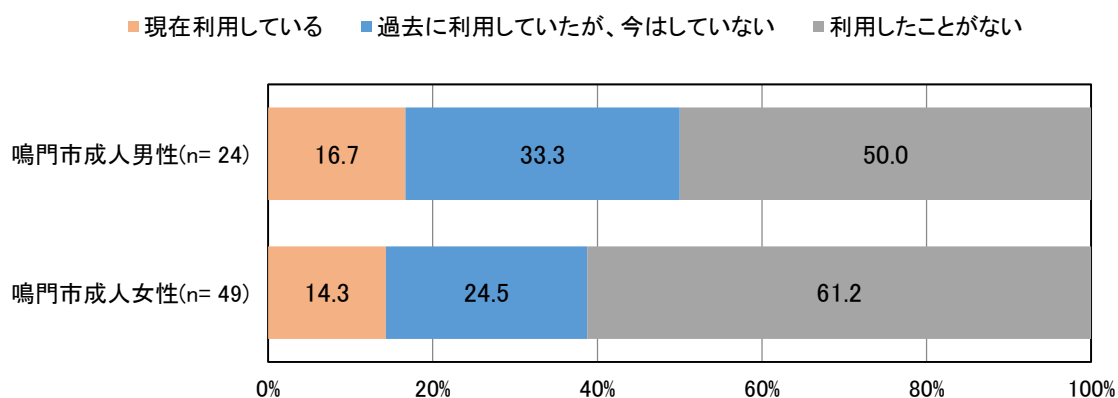


図 2-8 学校体育施設開放の利用状況

開放されている学校体育施設の利用希望についてたずねたところ、「利用したい」「どちらかという利用したい」が男性で 36.6%、女性で 44.0%となっており、利用の希望は半数に満たないことが分かります。

学校体育施設の開放の際に、電気使用料などの受益者負担や開放事業の運営への協力依頼を検討しているとして、その是非について意見を求めたところ、男性で7割以上、女性でも5割以上が「良いと思う」と肯定的な回答をしており、「良くないと思う」は1割未満となっております。

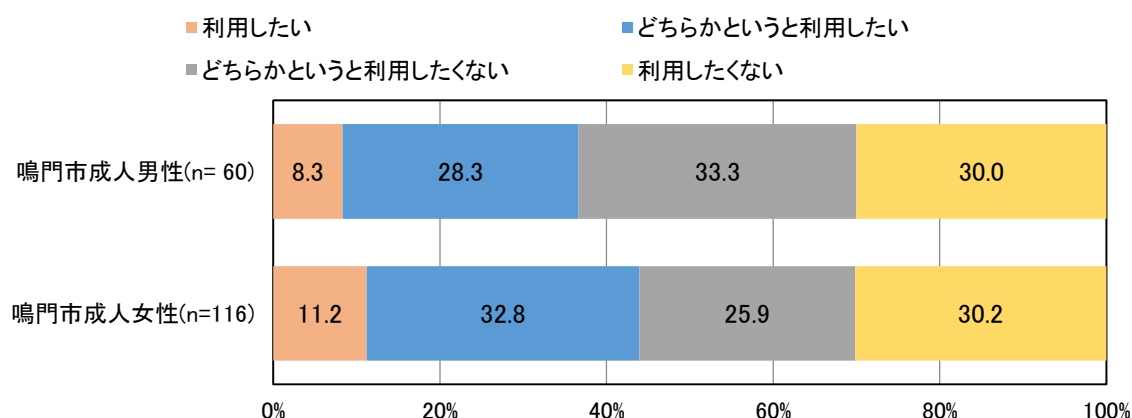


図 2-9 学校開放体育施設の利用希望

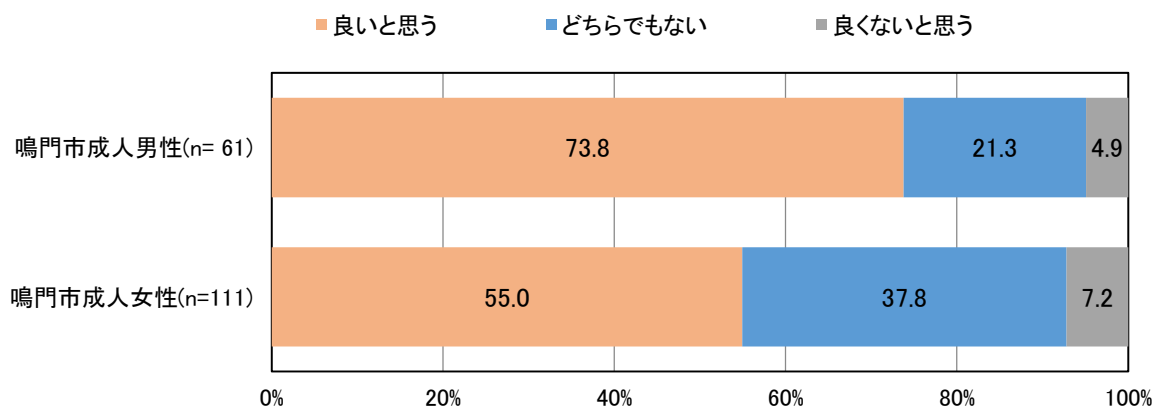


図 2-10 学校体育施設開放利用者の受益者負担についてどう思うか

3. 青少年のスポーツライフに関する実態調査結果

(1) 過去1年間の運動・スポーツの実施頻度

過去1年間に行った運動・スポーツの実施頻度をたずね、表3-1に示す実施頻度群に分類しました。笹川スポーツ財団の全国調査と比べると、鳴門市の高校生は過去1年間に運動・スポーツをしなかった者(非実施者)の割合が高くなっています。鳴門市の小学生、中学生についても、非実施者の割合がやや高いものの、いずれの実施頻度群についても同様の傾向がみられます。

表 3-1 運動・スポーツ実施頻度群

実施頻度群	基準
非実施群	非実施(0回/年)
低頻度群	年1回以上週3回未満(1~155回/年)
中頻度群	週3回以上週7回未満(156~363回/年)
高頻度群	週7回以上(364回以上/年)

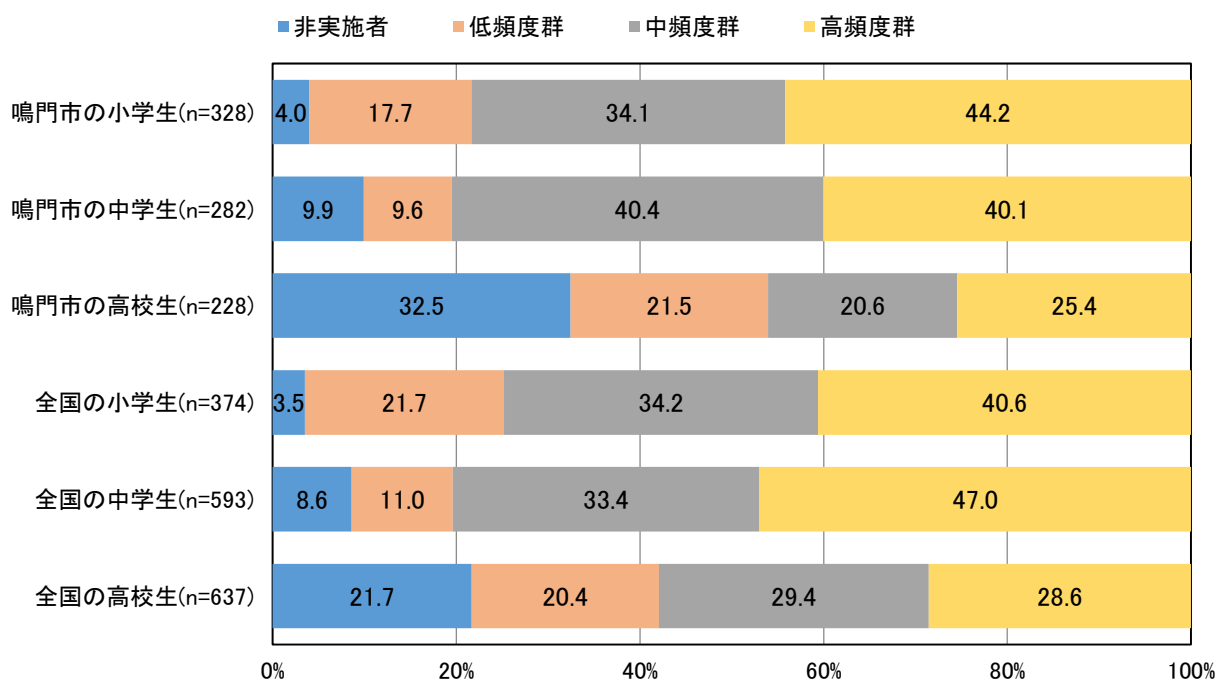


図 3-1 過去1年間の運動・スポーツの実施頻度

注) 鳴門市での調査と全国調査では、調査時期が異なり、各学年のサンプル数に差があるため、これらの差が回答に少なからず影響を与えていることは否めない。

(2) 実施している運動・スポーツ種目

過去1年間に1回以上実施した運動・スポーツの種目をみると、小学校4～6年生、中学生、高校生いずれも笹川スポーツ財団の全国調査とほぼ同様の結果となっています。全国調査に比べて鳴門市で人気(実施率)の高い種目として、中学生と高校生の「ウォーキング」があげられます。一方、全国の小学校4～6年生では、第3位に「水泳」が入っているものの、鳴門市の小学校4～6年生では、上位10種目には含まれず、実施率が低いことが分かります。鳴門市内にスイミングスクールがないことが影響している可能性もあります。

表 3-2 過去1年間に行った運動・スポーツ種目

鳴門市の公立小中高生 (2013)											
順位	小学校4～6年生 (n=326)	(%)	(n)	順位	中学生(n=278)	(%)	(n)	順位	高校生(n=222)	(%)	(n)
1	なわとび(長なわとびを含む)	77.3	252	1	ジョギング・ランニング	40.3	112	1	ウォーキング	26.1	58
	おにごっこ	77.3	252	2	筋力トレーニング	32.0	89	2	ジョギング・ランニング	23.4	52
3	ドッジボール	73.0	238	3	ウォーキング	29.5	82	3	バスケットボール	18.0	40
4	ぶらんこ	67.8	221	4	なわとび(長なわとびを含む)	28.1	78		バドミントン	18.0	40
5	かくれんぼ	56.4	184	5	バスケットボール	27.7	77		筋力トレーニング	18.0	40
6	サッカー	54.0	176	6	おにごっこ	27.3	76	6	サッカー	16.2	36
7	鉄棒	50.6	165	7	卓球	24.1	67	7	卓球	14.0	31
8	自転車あそび	50.3	164	8	サッカー	21.9	61	8	野球	11.7	26
9	キャッチボール	43.6	142	9	キャッチボール	19.8	55		キャッチボール	11.7	26
10	かけっこ	41.4	135		9	ドッジボール	19.8	55	10	バレーボール	10.8
								ポウリング		10.8	24

全国の小中高生 (2012)											
順位	小学校4～6年生 (n=396)	(%)	(n)	順位	中学生(n=568)	(%)	(n)	順位	高校生(n=471)	(%)	(n)
1	サッカー	40.9	162	1	サッカー	27.1	154	1	バスケットボール	25.7	121
2	おにごっこ	32.8	130	2	野球	25.9	147	2	筋力トレーニング	22.1	104
3	水泳(スイミング)	29.5	117	3	バスケットボール	25.4	144	3	サッカー	20.6	97
4	ドッジボール	25.3	100	4	ジョギング・ランニング	20.6	117	4	ジョギング・ランニング	18.5	87
5	なわとび(長なわとびを含む)	23.2	92	5	筋力トレーニング	19.2	109	5	バドミントン	17.6	83
6	バドミントン	20.2	80	6	バドミントン	17.3	98	6	バレーボール	17.6	83
7	キャッチボール	18.7	74	7	バレーボール	16.0	91	7	卓球	14.2	67
8	バスケットボール	18.2	72	8	キャッチボール	13.7	78		野球	13.8	65
9	かけっこ	14.9	59	9	卓球	13.4	76	9	ポウリング	11.3	53
10	バレーボール	10.6	42	10	なわとび(長なわとびを含む)	13.0	74	10	ウォーキング	9.3	44

(3) 今後行いたい運動・スポーツ種目

現在行っているものを含めて、今後行いたい運動・スポーツの種目をみると、小学校4～6年生、中学生、高校生いずれも笹川スポーツ財団の全国調査とほぼ同様の結果となっています。

表 3-3 今後行いたい運動・スポーツ種目(現在行っていて、続けたい種目を含む)

鳴門市の公立小中高生 (2013)											
順位	小学校4～6年生 (n=200)	(%)	(n)	順位	中学生 (n=136)	(%)	(n)	順位	高校生 (n=82)	(%)	(n)
1	サッカー	18.5	37	1	バスケットボール	25.0	34	1	サッカー	15.9	13
2	水泳(スイミング)	11.0	22	2	野球	14.0	19	2	テニス(硬式)	14.6	12
3	テニス(硬式)	10.5	21	3	サッカー	11.0	15	3	バスケットボール	13.4	11
4	野球	10.0	20		パレーボール	11.0	15	4	バドミントン	12.2	10
5	陸上競技	8.5	17	5	卓球	10.3	14	5	野球	6.1	5
6	バスケットボール	7.5	15	6	テニス(硬式)	7.4	10		ハンドボール	6.1	5
7	パレーボール	6.0	12		弓道	7.4	10		卓球	6.1	5
8	卓球	5.5	11	8	バドミントン	6.6	9	8	フットサル	4.9	4
	体操競技	5.5	11	9	陸上競技	5.9	8		ジョギング・ランニング	4.9	4
10	バドミントン	3.5	7	10	水泳(スイミング)	5.1	7		弓道	4.9	4
	剣道	3.5	7						スノーボード	4.9	4

全国の小中高生 (2011)											
順位	小学校4～6年生 (n=235)	(%)	(n)	順位	中学生 (n=363)	(%)	(n)	順位	高校生 (n=330)	(%)	(n)
1	サッカー	21.7	51	1	サッカー	15.4	56	1	サッカー	14.8	49
2	野球	14.5	34	2	バスケットボール	14.9	54		バスケットボール	14.8	49
3	水泳(スイミング)	10.2	24	3	野球	12.1	44	3	バドミントン	11.5	38
4	テニス(硬式)	8.9	21	4	テニス(硬式)	10.7	39	4	野球	10.6	35
5	バスケットボール	8.5	20	5	バドミントン	9.1	33	5	テニス(硬式)	9.1	30
6	バドミントン	8.1	19	6	水泳(スイミング)	6.6	24	6	パレーボール	7.3	24
7	陸上競技	7.7	18	7	ソフトテニス(軟式)	6.1	22	7	水泳(スイミング)	5.8	19
8	パレーボール	5.1	12	8	陸上競技	4.4	16	8	ソフトテニス(軟式)	5.5	18
9	空手	3.0	7		パレーボール	4.4	16	9	卓球	5.2	17
10	ドッジボール	2.1	5	10	卓球	3.9	14	10	陸上競技	4.2	14
	バレー	2.1	5		剣道	3.9	14		弓道	4.2	14
					弓道	3.9	14		ジョギング・ランニング	4.2	14

(4) 学校運動部やサークル、民間スポーツクラブへの加入状況

学校運動部やサークル、民間のスポーツクラブ、地域スポーツクラブへの加入状況をたずねました。加入率は、小学校4～6年生、中学生、高校生いずれも笹川スポーツ財団の全国調査の結果に比べて、高い割合となっており、引き続き運動・スポーツに取り組むことができる環境を整備する必要があります。

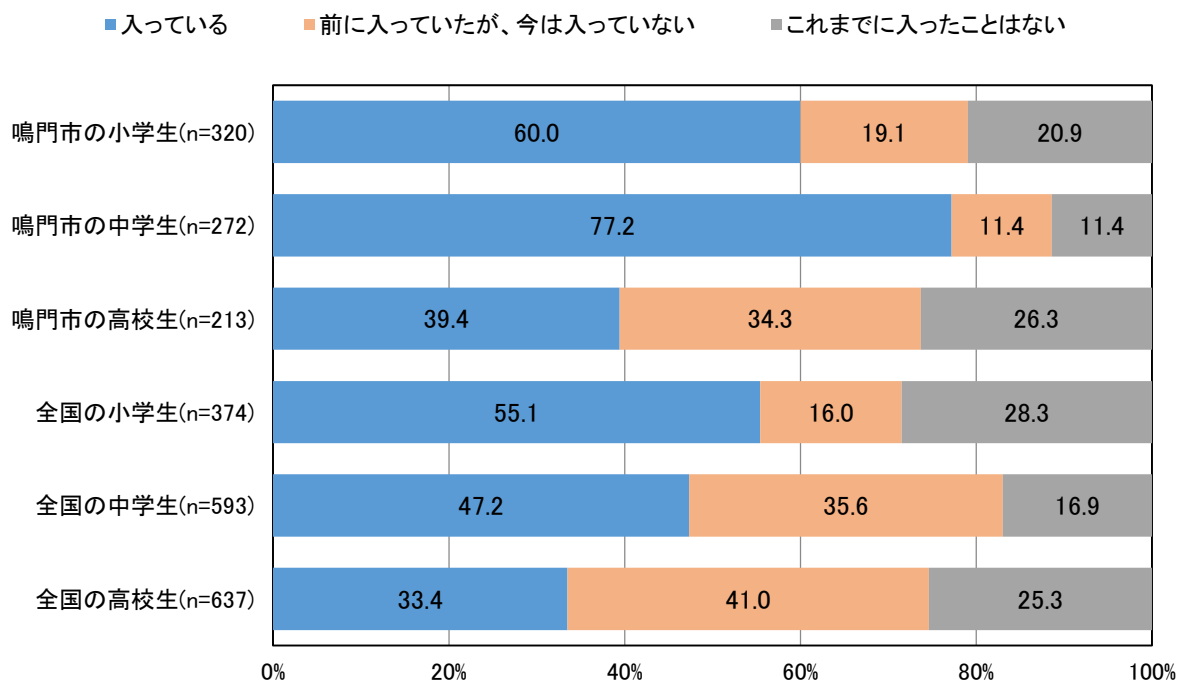


図 3-3 学校の運動部やサークル、民間スポーツクラブへの加入状況

(5) スポーツボランティアの実施状況

スポーツ活動の手伝いや世話など、スポーツを支えるボランティア活動の実施状況についてたずねました。実施率は、小学校4～6年生の割合が笹川スポーツ財団の全国調査の結果より高くなっています。中学生は全国調査の結果より低い割合であるが大きな差はなく、高校生ではやや高い割合となっています。ボランティアの実施内容を見ると、どの学校期においても、スポーツ審判や審判の手伝いが多い結果となりました。

さらに、今後のスポーツボランティアをやってみたいかをたずねたところ、中学生、高校生の希望率が、全国調査の結果よりも高くなっており、スポーツボランティアの実施に意欲的であることが分かります。

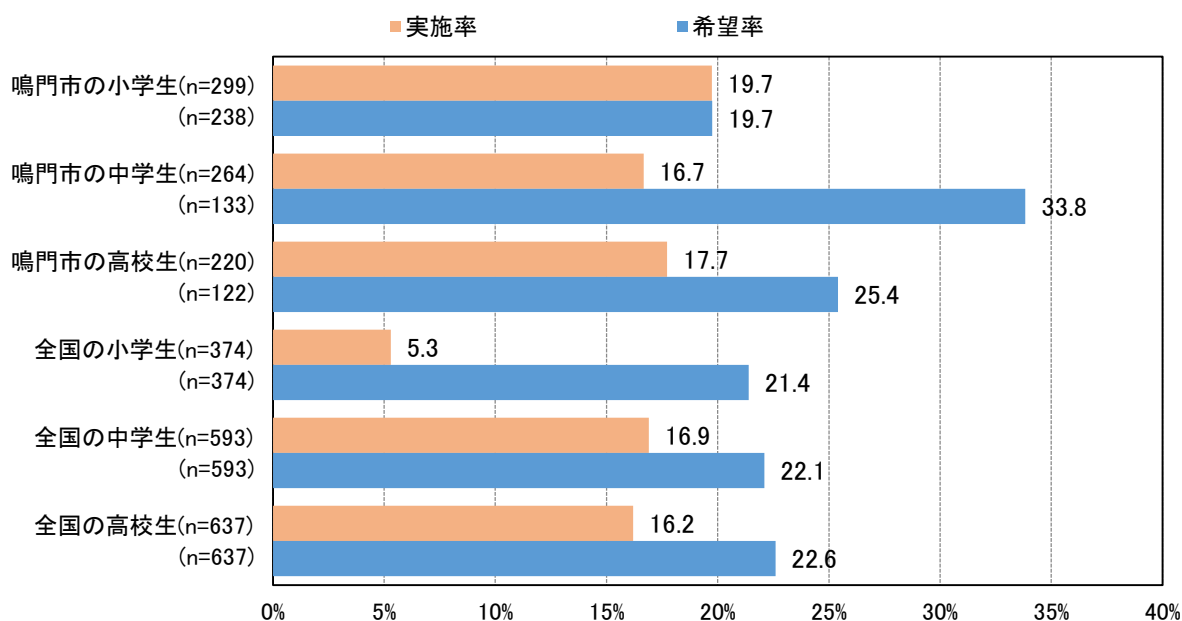


図 3-4 スポーツボランティアの実施率と実施希望率

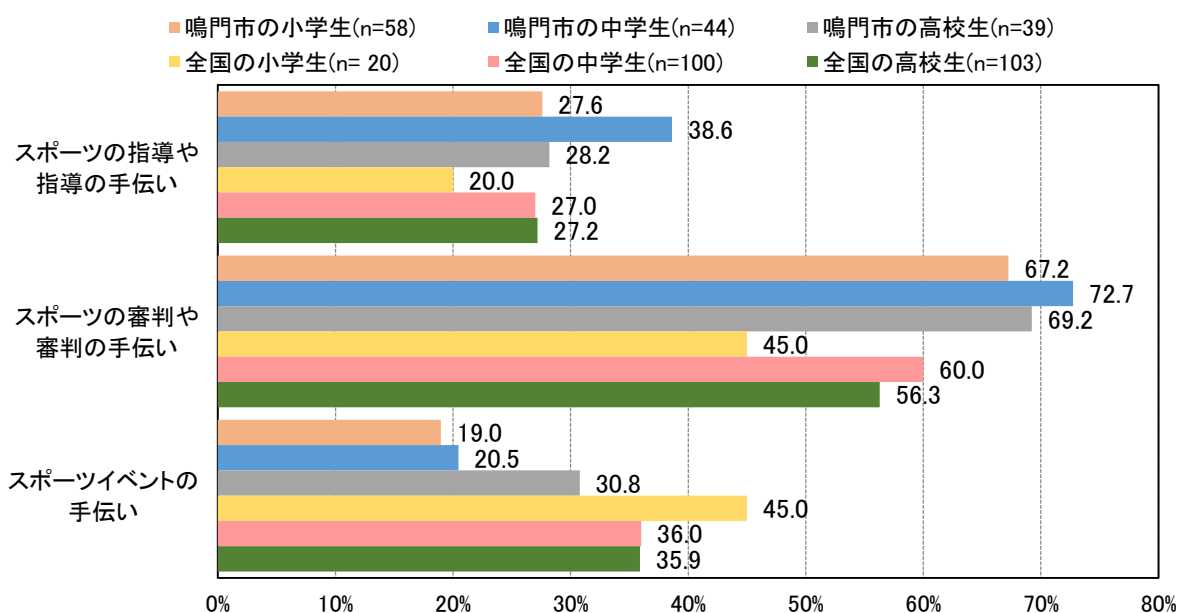


図 3-5 スポーツボランティアの実施内容

資料2 社会体育施設・学校体育施設一覧

●：開放施設 ○：開放施設であるが、利用実績なし、△：施設はあるが、開放なし

区分 No.	施設名	設立	設立年	設置	運営	利用料	設備														
							体育館	グラウンド	アリーナ	武道場	トレーニングルーム	座球場	屋外ゴール	野球場	サッカー場	多目的・イベント広場	その他				
1	鳴門市民会館	昭和36年	1961	市立	市営	有料	●														
2	鳴門市鳴南運動場	昭和48年	1973	"	"	無料		●													
3	鳴門市桑島テニスコート	昭和53年	1978	"	"	"															
4	鳴門勤労者体育センター	昭和55年	1980	"	"	有料	●														
5	鳴門市剣道場	昭和55年	1980	"	"	無料					●										
6	鳴門市大谷運動場	昭和57年	1982	"	"	"		●													
7	鳴門市相撲場	昭和63年	1988	"	"	"														●	
8	鳴門市桑島サッカー場	平成7年	1995	"	"	"														●	
9	鳴門市体操場	平成8年	1996	"	市体操協会	有料	●														
10	鳴門市アーツエリー場	平成8年	1996	"	"	無料														●	
11	鳴門市総合運動場	平成10年	1998	"	"	有料														●	
12	徳島県鳴門・大塚スポーツパーク	昭和46年	1971	県立	"	"	●			●										●	
13	鳴門ウチノ海総合公園	平成15年	2003	"	"	無料														●	
学校体育施設							△※1														
1	撫養小学校						●														
2	黒崎小学校						●														
3	桑島小学校						●														
4	第一小学校						●														
5	大津西小学校						●														
6	林崎小学校						●														
7	里浦小学校						●														
8	鳴門東小学校						●														
9	鳴門西小学校						●														
10	明神小学校						●														
11	瀬戸小学校						●														
12	北灘東小学校						●														
13	北灘西小学校						●														
14	堀江北小学校						●														
15	堀江南小学校						●														
16	板東小学校						●														
17	第一中学校						△														
18	第二中学校						●														
19	鳴門中学校						●														
20	瀬戸中学校						●														
21	大塚中学校						●														
22	徳島県立渦潮高等学校						●														
23	国立大学法人鳴門教育大学						△※1														

※1)使用対象：地方公共団体等の主催するスポーツ大会及び公共的な講演会、研究会など